

地球科学輻合ゼミナール

(2012年度 後期 第5回)のご案内

石の言葉を翻訳しよう

大井 修吾

京都大学理学研究科 地質鉱物学分野

山で見ることのできる火成岩や変成岩は、地球内部で生成された後に地表に現れる。岩石は地表においては気温に近い温度であるが、生成時には数百 $^{\circ}\text{C}$ ～千数百 $^{\circ}\text{C}$ という高温を経験している。どのような温度・圧力を経験しているのかを理解するためには、岩石に含まれる鉱物種や鉱物組み合わせ、その化学組成を調べる必要がある。その、「鉱物の観察と分析」と、「鉱物の晶出する温度・圧力」を結びつけるため、これまで数多くの室内実験が行われてきた。

今回の発表では、私が研究対象としている輝石という鉱物を中心に、どのような室内実験が行われ、なぜそこから温度・圧力条件がわかるのかを紹介する予定である。

11月7日(水) 午後4:30～午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室